

飯館村ホームページを更新中

昨年12月にデザインをリニューアルした飯館村のホームページに、このたび『イベントカレンダー』が追加されました。イベント情報が随時掲載されていきますので、ぜひお役立てください。また、ポータルサイトとして、村の歴史・文化やグルメ情報を紹介する『飯館YOITOKO発見!サイト』、多彩な記事を掲載するウェブマガジン『飯館村の食と暮らし』も新登場。既存の『移住・定住ポータルサイト』と合わせてご活用ください。

問 村づくり推進課企画定住係
☎0244-42-1613

飯館村ホームページの
トップページから



イベントカレンダーの
タブをクリック!

ポータルサイトは各バナー
をクリックしてね!

7月号から新コーナーが始まります 歴史の散歩道

大館村と飯館村が合併して「飯館村」が誕生する以前から、この地に刻まれてきた長い歴史をたどり、毎回1つのトピックを取り上げて紹介します。連載は次号7月号からスタートします。どうぞお楽しみに。



写真はイメージで村の資料から

交流センターから本を借りて、長く返却をお願いいたします。

問 交流センター「ふれ愛館」
☎0244(42)0072



八和木集会所にて

移動図書館車
こあら号



交流センター「ふれ愛館」だより
交流センター図書報告

令和4年度の図書貸出は1521冊、406人の利用がありました。移動図書館車こあら号に関しては、関根・松塚、草野、佐須、前田・八和木の各地区のサロンや夏休み期間中の学童保育つくしんぼハウスにもお邪魔させていただきました。多くの方にも本に触れてもらい、心豊かになるよう今後も読書活動推進に力を入れていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

いいたて ② イノサル通信

獣害防護柵管理講習会を実施しました!

防護柵が効果を発揮するためには

令和5年5月2日に交流センター「ふれ愛館」において、村の補助を受け、すでに防護柵を設置している方々を対象に、主に正しい管理の方法について、講習を行いました。講師は、福島県避難地域鳥獣対策支援員が務めました。防護柵は、動物の侵入を防ぎ、農作物等を守るためには、非常に有効な対策です。しかし、正しく設置し、適正な管理を継続しないと、防護柵の効果は発揮されません。講習会に参加されなかった方も、改めて自分の防護柵を確認してみましょう。



5月の講習会の様子

① なぜ農作物被害が起こるか	<ul style="list-style-type: none"> ● イノシシやサルはもともと里(低標高)のいきもの。 ● 餌や隠れ場所があれば、集落に出てくる。
② 鳥獣の生態	<ul style="list-style-type: none"> ● 生態を誤解し、むだな対策をしていることがある。 ● 動物の習性や能力を知り、効果的な対策をする。
③ 対策の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境整備、被害防除、捕獲を総合的に実施することが大事。 ● 柵は、設置や管理に不備が起きやすい。
④ 防護柵の設置	<ul style="list-style-type: none"> ● 柵の種類による違いを理解する。 ● 対象動物の目線で、絶対に入れない柵にする。
⑤ 防護柵の管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 柵の周囲を動物が来にくい環境に整備する。 ● こまめな点検と補修で、柵の効果を維持する。



防護柵の効果を維持するためには、まず、周辺環境整備が大切です。周囲に廃棄物を放置していたり、動物が隠られるヤブがあったりすると、柵が突破される可能性が上がってしまいます。次に、ワイヤーメッシュ柵は動物を物理的に防ぐものなので、破損や弱くなった部分をしっかり補修することが大切です。電気柵は、触った時の痛みにより、動物に嫌な思いをさせ、近寄らないようにさせる心理柵です。365日24時間、十分な電気を流し、侵入しようとした動物が必ず痛い目に合う状態を保ちましょう。

講習会の資料は村産業振興課の窓口で配布していますので、詳細についてはそちらをぜひご一読ください。また、8月には現地実習も含めた講習会も予定していますので、そちらもぜひご参加ください。

イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する鉄谷さんからのお知らせです。



福島県避難地域鳥獣対策支援員

てつや たつゆき
鉄谷 龍之 さん

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯館村の鳥獣対策に携わり、今年度から村の主担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。